

ほっトリハ



表紙作品ご提供 竹内 ひろみ様

チョットReha 第47回

今さら聞けない
リハビリテーション
リハビリテーション専門病院で
求められる臨床検査技師の役割

看護部の取組み

～あれ&これ～ご紹介 Vol.31
訪問看護ステーション
派遣研修に行ってきました!!

とりはごはん Vol.6

夏バテを乗り切ろう!
～ビタミンB₁のはなし～

医療福祉連携室だより

就労移行支援事業所に対する
高次脳評価バッテリー
研修会の実施
～高次脳機能障害者の
よりよい支援に向けて～

REHA NEWS

東京都基幹
リハビリテーション支援
センターを受託しました!

運営理念

リハビリテーションを通して患者さんが生きる喜びと希望を抱き、充実した人生をおくられるよう、医の原点に立った心温まる医療を提供し、福祉・介護との連携推進をはかる。



今さら聞けない リハビリテーション専門病院

今回このコーナーを担当する検査科の臨床検査技師、高橋 修です。
 入院患者の皆さまには、心電図検査の際に一度はお目にかかっていることと存じます。私は、平成元年に東京都リハビリテーション病院が開院したときのメンバーで、9年間勤めました。その後、市川市リハビリテーション病院や済生会東神奈川リハビリテーション病院の開院にも立ち会い、3年前に24年振りに当院に戻って参りました。
 当院の開院当時は、パソコンは高価で個人では持てない時代でした。病院の施設も同様に検査依頼伝票などは紙ベースでしたが、現在では、電子カルテの導入や検査機器の進歩のおかげで、迅速に検査データを提出できるようになっており、年月の流れを実感しています。



臨床検査の業務区分

検体検査

▶ 血液、尿などの検体を検査します

(各病棟、外来、入院時一式の検査を実施。精度管理にも配慮しています)

生化学検査

検査項目

- TP、AST、ALT、LDH、BUN、血糖、HbA1cなど



血液学検査

検査項目

- WBC、RBC、Ht、Hb、血小板血液像など



生理検査

▶ 患者さんの身体を直接検査します

(心電図、ホルター心電図、呼吸機能、脳波、筋電図、誘発電位検査を実施)

〈当院検査科の特色〉

1. 日本臨床神経生理学会認定施設 (専門医、専門技術師が所属)
2. 神経生理検査部門は、日本の中心的存在とされており、全国の臨床検査技師に情報発信や技術指導を実施

脳波検査

検査項目

- 一般的な脳波検査



筋電図・誘発電位検査

検査項目

- 神経伝導検査、針筋電図
- 誘発電位検査など
- ボトックスの電気刺激

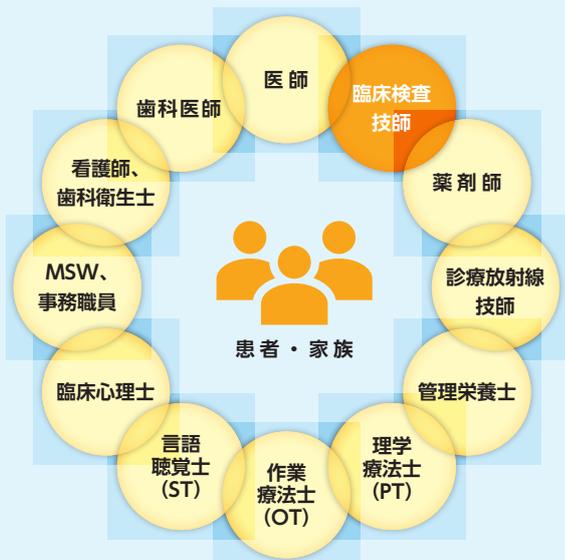


リハビリテーション

で求められる臨床検査技師の役割



チーム医療



近年は医療の高度化や複雑化が進み、多くの病院で「チーム医療」が展開されています。チーム医療とは、さまざまな職種の医療スタッフがお互いに専門性を活かして連携しあうことで、個々の患者さんに最適な治療をおこなうことです。臨床検査技師は検査室にこもって試験管を振っているイメージがあるかもしれませんが、病棟で患者さんに直接接触して心電図検査などをおこなうのも臨床検査技師の役割です。

また、検査データを調べて提供するだけではありません。臨床検査技師が関わっているチームとその業務内容を紹介します。

● 医療安全管理チーム

臨床検査技師は、院内感染対策や輸血に関する一元管理を行っています。また、検体の取り間違い対策として、手順を減らしたり、ミスを早期発見できるシステムを考えています。

● 感染症対策チーム

臨床検査技師は、入院患者さんの検査結果から耐性菌が出現しているかをモニタリングし、医師と薬剤師に報告して、ある時は対策案を提案して院内感染を予防するといった役割を果たすようにしています。

～すべては「患者中心」に～

検査科としては、臨床上の優先事項として①リハビリテーション②病棟処置③臨床検査と考えて、活動しています。これは、リハビリを目的として入院されている患者さんを中心に考えた優先順位であり、病院スタッフの都合で考えたものではありません。例えば病棟と連携して、リハビリの時間には検査を入れないなど配慮しています。

臨床検査は多岐に渡るのですが、ここでは語り尽くせませんが、今回の企画で少しでも私たちの職種について知っていただけたら幸いです。

「開かれた検査室」を心がけていますので、スタッフの皆さんもいつでもお気軽に検査科へいらしてください。



検査科 臨床検査技師
高橋修

看護部の取組み

～あれ&これ～ご紹介

Vol.31



訪問看護ステーション派遣研修に行ってきました!!

看護部では、昨年度の大規模配管工事で病棟閉鎖となった時期を活用し、長期間派遣研修を企画しました。退院後の在宅生活およびケアの実際を知り、入院早期

からの退院支援に活かすために二次医療圏内の訪問看護ステーション「みけ」「にじ」「ハート」に派遣をお願いしました。研修生の価値ある学びを共有します!

訪問看護ステーションみけ

訪問看護の利用者は、終末期や認知症、精神疾患のある方など幅広く、地域での利用者の暮らしぶりなど研修を通して理解することができた。病院でのケアとは違い、利用者の生活の中に入ってケアすること、それぞれの家庭のルールがあること、限られた資源や時間の中で工夫しながら多面的な支援を行い、利用者だけでなく家族・ペットの対応もしていることを学んだ。

研修前は患者家族が自宅退院を希望した際に、自宅での生活は難しいのではないかと考えることが多かったが、研修後はいかに自宅でサービスを利用しながら暮らせるか、どのような生活を望んでいるのかなど、患者さんの意向をより深く考えるようになった。また入院中にできたこと、できなかったことを看護サマリーに記載することで、退院後も継続したケアに繋がることを今回体感したので、しっかり実践している。

4S病棟 蛭子愛

訪問看護ステーションハート

訪問看護研修を通して、普段は自宅へ退院できるように看護をしているが、実際に在宅での様子を見て自宅へ退院できることがゴールではない。自宅へ退院する目的は何か、入院時よりビジョンを持っておくこと、患者さんと一緒に考えておくことの大切さを学んだ。在宅退院直後はバリアフリー

ではない環境で生活することすべてがリハビリとなる。しかし、生活の再構築を終えた後、より生活を良くしようとする目標がなければ、病院と違い強制的にリハビリができる環境ではないため、体力の低下・筋力の低下はすぐに起こってしまうと学んだ。退院時のADLを考慮した退院支援も大切だが、その先を予測し関わっていきたいと思った。

5F病棟 松山美咲

訪問看護ステーションみけ

入院中は離床センサーや見守りが必要とされていた軽度認知症の80歳女性が、退院後在宅では、身支度を整え、買い物に出かけ、日中穏やかに過ごされている姿を見て驚いた。

病院では「出来ない」と判断されがちの方が、

在宅では何事もなく生活されている。その姿に強さと尊さを感じた。支えるとは制限することではなく、力を信じることと、看護の本質を学んだ気がした。病院に戻った今、すぐに見守りや制限を考えるのではなく、まず「どこまで自分でできるか」を丁寧に見極めるようにしている。

6F病棟 齊藤茂雄



夏バテを乗り切ろう！ ～ビタミンB₁のはなし～



暑い日が続く、体調不良を感じる方も多いのではないのでしょうか。1日3食バランスの良い食事に加えて、ビタミンB₁を積極的に摂取することも夏バテ予防に効果的です。

ビタミンB₁は糖質がエネルギーに変わるのをサポートし、乳酸などの疲労物質の処理にもかかわっているため、不足すると疲れやすくなります。また、ニンニクやネギ、ニラなどの臭気成分であるアリシンと一緒に摂取することで、ビタミンB₁をむだに

排泄することなく、長時間にわたって利用できるためより効果的です。

栄養科 太田友紀

ビタミンB₁を多く含む食品



豚肉、うなぎ、大豆など

夏バテ予防におすすめ！病院食レシピ紹介



豚肉のゴマ味噌炒め (1人分：エネルギー280kcal 食塩相当量1g)



材料 (2人分)

- ・豚肩ロース……………140g
- ・ピーマン……………40g
- ・赤ピーマン……………20g
- ・たまねぎ……………50g
- ・サラダ油……………適量
- ・おろし生姜……………小さじ2杯
- ・おろしニンニク……………小さじ1杯
- ・味噌……………小さじ2杯
- ・白炒りゴマ……………小さじ2杯
- ・みりん……………小さじ1と1/2杯
- ・砂糖……………小さじ1と1/2杯
- ・酒……………小さじ1と1/2杯

A

作り方

- ① 豚肉、ピーマン、赤ピーマン、たまねぎは食べやすい大きさに切り、Aは混ぜ合わせる。
- ② フライパンにサラダ油を熱し、豚肉を炒める。色が変わったらピーマン、赤ピーマン、たまねぎを加えて炒め合わせる。
- ③ 野菜がしんなりしたらAを加え、全体を炒め合わせる。



医療福祉連携室だより



📧 就労移行支援事業所に対する高次脳評価バッテリー研修会の実施 ～高次脳機能障害者のよりよい支援に向けて～

東京都リハビリテーション病院では平成24年度より、東京都の高次脳機能障害支援普及事業「専門的リハの充実」事業を受託し、区東部医療圏域の高次脳機能障害者の支援の質の向上や関係機関等の連携充実を図っています。

令和5年度に墨田区の就労移行支援事業所等に訪問し、インタビューで調査を実施したところ、「高次脳機能障害者の経過報告書（以下：サマリー）の評価内容や評価バッテリーがわからない」「医療機関と連携がとりにくい」といった意見を聴取しました。そのため、令和6年度から就労移行支援事業所向けに、高次脳機能障害者における評価バッテリーがどのような検査で、支援にどう活かしていくのかという視点に着目した研修会を開催しました。今回は、その研修会のアンケート結果の1部と連携の重要性に関して報告します。

概要

区東部医療圏域にある12か所の就労移行支援事業所延べ37名が参加し、評価バッテリーを示しながら、評価方法など説明しました。またカットオフ値に関すること、その解釈に関する注意点や支援の視点なども事例紹介と併せて具体的に伝えました。

アンケート結果

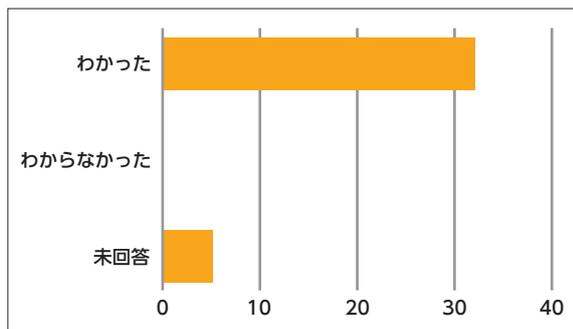
参加者のアンケート結果の1部を以下に示します。

アンケート結果から、研修会後に評価バッテリーの理解が進んだ事がうかがわれます。さらにサマリーを支援で活かせるという意見も多く聞かれました。理由は、「強みや弱みを把握しやすくなり、どう支援をしていくのかのヒントになると思う。」「生活歴・病歴・検査結果等その人を知るための情報が得られ、支援の方針を決めるためのきっかけになると感じた。」とする一方で、サマリーという紙面上の情報共有だけではなく、「直接連携を取れば活かせる」という意見も聞かれました。

障害者総合支援法における就労移行支援事業所の利用は2年間と限られ、その期間内に就労につなげる必要があります。サマリーは、就労支援を必要としている対象者の必要な情報の多くが記載されており、シームレスな支援に有効です。しかし、医療機関の担当者が分からずサマリーが入手できないことも多々あるとのことでした。今回の研修会はサマリーを読み解き支援に活かすための支援者向けの研修会でしたが、今後は医療機関に対しても情報共有の必要性を伝え、連携できる仕組みを検討していくことが重要と考えます。

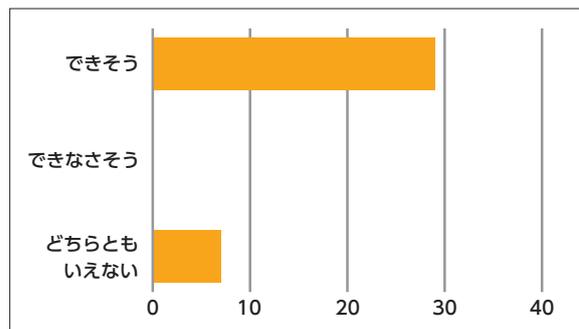
東京都リハビリテーション病院
事業推進課
山 寄 未 音

(単位：名)

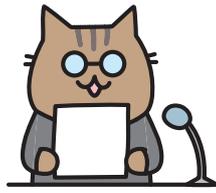


Q 高次脳機能評価3種

(単位：名)



Q サマリーを支援に活かせるか



REHA NEWS

ニュース イベント

東京都基幹リハビリテーション支援センターを受託しました！

Q 2025年4月に東京都基幹リハビリテーション支援センター（基幹リハ支援センター）を受託したって本当ですか？

堀田 はい！地域リハビリテーション支援センター（以下支援センター）を支える事業を行います。

Q 支援センター？
それはどんなものなののでしょうか？

堀田 超高齢社会を迎える中、高齢者が抱える疾患の多くは、単なる病気の治療にとどまらず、生活機能障害という形でその人らしい暮らしを脅かします。こうした課題に対しては、医療機関だけで完結できるものではなく、医療・介護・福祉が連携した地域全体での支援が必要です。そこで重要な役割を果たすのが「地域リハビリテーション」であり、その実践の拠点となっているのが、各二次保健医療圏に設置されている「地域リハビリテーション支援センター」です。都内12カ所が指定されています。

Q 各支援センターは、地域に寄り添った活動をされているんですね！
では、基幹リハ支援センターは何をやるのでしょうか？

堀田 これらの支援センターは、長年にわたり地域に根ざした活動を展開してきましたが、その

運営や支援内容は地域によって異なり、地域格差や支援の質のばらつきが課題となってきました。そこで、従来の支援センターの活動を支え、さらにこれらの支援センターをつなぎ、活動の平準化や人材育成、情報の集約と発信を担う「基幹リハ支援センター」の設置が東京都により検討され、このたび当院がその役割を担うことになったのです。

Q 東京都の各支援センターをお手伝いする役割ですね！これからどのような活動をされるのでしょうか？

堀田 当院はこれまでも区東部圏域における支援センターとして、地域リハビリテーションの推進に取り組んできました。島しょ地域への支援や、多職種研修、人材育成にも実績があります。こうした経験を活かし、都内全域の支援センターとの連携を強化し、専門的な研修の実施、地域リハに関する調査研究、情報共有のハブとしての役割を検討しています。

地域で活動されている皆様と手を携えながら、これからの地域リハビリテーションとともに実践したいと考えております。今後ご協力をよろしくお願い申し上げます。

院長補佐
堀田 富士子

表紙解説



表紙作品ご提供
竹内 ひろみ様

「うまかった日」

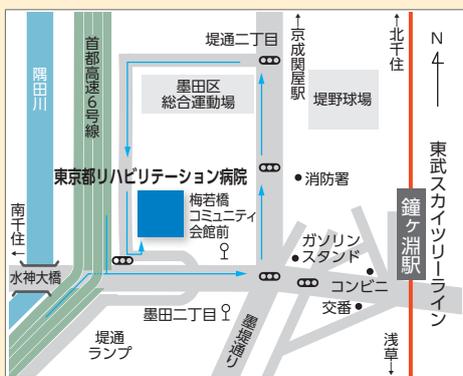


2014年に脳出血を発症し、重度の右片麻痺となりました。リハビリテーション病院退院後、新たな趣味を開拓すべく絵画教室に通うようになりました。利き手の右手は麻痺が重度であり、左手での絵画にチャレンジしました。この絵は絵画教室のテーマ「静物 夏の花」において作成したものです。

竹内様コメント

作品名の「うまかった日」というのは、描いた絵が上手に仕上がって思わず笑みがこぼれそうな気持ちと、向日葵が希望に向かって開花するイメージを表しています。

交通案内



- JR山手線
- JR総武線快速
- JR中央線・総武線各駅停車
- JR中央線快速
- 東京メトロ千代田線
- 東京メトロ半蔵門線
- 東武スカイツリーライン
- 東武亀戸線
- 京成本線



出発駅	路線	所要時間	乗り換え	徒歩	到着駅
南千住	都営バス	10分	なし	2分	梅田区総合運動場
錦糸町	都営バス	25分	なし	4分	墨田二丁目
浅草	東武スカイツリーライン	10分	なし	7分	鐘ヶ淵
亀戸	東武亀戸線	20分	曳舟乗り換え	なし	鐘ヶ淵
北千住	東武スカイツリーライン	5分	なし	なし	鐘ヶ淵
京成上野	京成本線	12分	なし	15分	京成関屋

※東京都リハビリテーション病院は、東京都が設置し、公益社団法人 東京都医師会が指定管理者として運営を行っている病院です。

東京都リハビリテーション病院



2025年7月1日(火)発行

東京都リハビリテーション病院 広報委員会

〒131-0034 東京都墨田区堤通2-14-1
TEL: 03-3616-8600 FAX: 03-3616-8705
<https://www.tokyo-reha.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

編集後記

梅雨明けとともに夏の暑さが本格的になってきました。暑さに加え、冷房と外気の温度差で体力を奪われがちなので、時には一息ついてゆっくりお過ごしください。こまめな水分補給も忘れずに、体調管理をしっかり行っていきましょう！